2011年度　生殖機能・妊娠分娩系Ⅱ　本試験

**Ⅰ. 海野**

　1. 妊娠高血圧症候群の定義と分類について述べよ

　2.　HELLPの定義を述べよ

　3.　双児間輸血症候群の病態について述べよ

**Ⅱ. 天野**

　Reassuring FHRの心拍数パターンについて書け

**Ⅲ. 川内（石川範囲含、予告：今年は気分を変えて記述にします。少し難しいです。）**

　1. 多嚢胞性卵巣症候群について各症例の治療法を簡潔に書け

　　（1）20歳、0経妊0経産、未婚、挙児希望なし
（2）30歳、0経妊0経産、既婚、挙児希望あり
（3）40歳、2経妊2経産、既婚、挙児希望なし

　2. 両側卵管水腫について、各症例の治療法を簡潔に書け
（1）20歳前半、0経妊0経産、既婚、挙児希望あり
（2）30歳前半、0経妊0経産、既婚、挙児希望あり
（3）30歳後半、0経妊0経産、既婚、挙児希望あり
（4）50歳女性、2経妊2経産、未婚、挙児希望なし

**Ⅳ. 庄田**

第一前方後頭位の分娩経過を記せ

**Ⅴ. 望月**

1. 吸引分娩の適応を述べよ

　2.　次の染色体のうち、正常な表現型の表記を2つ答えよ

　　　a) 47, XX, +18

 b) 69, XXY

 c) 46,XX,inv9

 d) 47, XX, +13

 e) 46,XX,t(1,3)

 f)　45,X

 g) 46,XX, del(5)(p13, p23)

　　　h)　47,XY,+21

**Ⅵ. 角田**

1. 子宮頚部に付着する靭帯は（     ）、（     ）、（     ）である。

2. 左右子宮動脈は、腹大動脈の分枝である（     ）から更に分枝した（     ）から血流をうける。

3. 婦人科の診断は（     ）、（     ）、（     ）で行う。

4. 子宮頚癌の細胞診の評価は（　　）で行なう。

5. 子宮頸癌の前癌病変は(  　  )であり、その後上皮内癌を経て子宮頸癌に至る。

6. 子宮全摘出の適応は（　　）と（　　）である。

7. 卵巣がんの治療は(      )、(      )、(    )である。

8. 子宮頚癌の原因となるのは（　　）と（　　）型が多い。

9. Ⅰb 1期は病巣が(　　)cm以内である。

10.Ⅲb期の治療は( 　 )療法と( 　 )療法を併用する。

**Ⅶ. 新井（過去問通り、まとめのプリント配布）**

1.　（  ）の言葉のうち、適切なものを○で囲みなさい。

A） 子宮筋腫について

1) 好発年齢は、（30～40歳、40～50歳）である。

2) 成人女性の（5人、10人）に1人が子宮筋腫を患っている可能性がある。

3) 主な症状は（過多月経、過長月経）である。

4) 挙児希望がある場合の手術方法は、（単純子宮全摘術、筋腫核出術）である。

5) 子宮筋腫のホルモン療法は、（エストロゲン療法、GnRHアナログ）である。

6) 子宮筋腫の大きさは、（鶏卵大、手拳大）である。

B） 子宮体癌について

1) 好発年齢は、（30代、40代、50代）である。

2) 子宮体癌の発症リスクは、（喫煙、高血圧）である。

3) 子宮体癌の症状は、（下腹部痛、不正性器出血）である。

4) 子宮体癌の診断方法は、（子宮内膜組織診、子宮内膜掻破）である。

5) 類内膜腺癌の前癌病変は、（子宮内膜増殖症、子宮内膜症）である。

6) 子宮体癌の治療は、（エストロゲン療法、プロゲステロン療法）である。

C） 外陰・膣疾患について

1) クラミジア感染症の特徴は、（ピンポン感染、Fitz-Hugh-Cartis症候群）である。

2) 外陰癌と膣癌のうち少ないほうは、（外陰癌、膣癌）である。

3) 外陰神経に疼痛を伴うのは、（ヘルペス感染症、淋病）である。

4) HPV感染は（尖形コンジローマ、扁平コンジローマ）を呈する。

5) 糖尿病などの免疫力低下で罹患しやすいのは、（カンジダ症、ヘルペス感染症）である。

6) トリコモナス膣炎では（黄色泡沫状帯下、酒粕状帯下）を呈する。

7) 老人性膣炎の治療では（エストロゲン製剤、ステロイド製剤）を用いる。

8) 口腔内アフタ、陰部潰瘍、ぶどう膜炎を呈する疾患は、（ベーチェット病、ページェット病）である。

**Ⅷ．早川（今年から新規参入、子宮頚癌をやりなさいと授業後告知）**

子宮頚癌について正しいものに○、間違っているものに×をつけろ

1)　子宮頚癌は腺癌が多い

2)　第Ⅰ期に放射線治療の適応はない

3)　子宮頚癌では密封小線源を用いる

4)　放射線治療の急性有害反応に便秘がある

5)　進行癌では放射線と化学療法を併用する